

## 017 バプテスマのヨハネの登場

ルカによる福音書 3 : 1~2、マルコによる福音書 1 : 2~6

### ▶洗礼者ヨハネルカによる福音書 3 : 1~2

01① (悪名高いローマ帝国の第2代) 皇帝ティベリウスの治世の第十五年 (→AD28/29)、  
→皇帝ティベリウス：ティベリウス・クラウディウス・カエサル、初代皇帝アウグストゥスの養子で、養子となる以前の名前は実父と同じティベリウス・クラウディウス・ネロ。在位：AD14~37、ローマ帝国を統治した。

② (皇帝ティベリウスが任命した) ポンティオ・ピラトが (第5代の) ユダヤの総督 (→AD26~36)、

③ヘロデ (→ヘロデ大王(在位：BC37~4)の息子ヘロデ・アンティパス) がガリラヤの領主 (在位：BC4~AD39)、

→ヘロデ・アンティパス (弟) は、ヘロデ大王の孫娘ヘロディアに対して、兄のフィリポと別れ、自分と再婚するように口説き、後に、ヘロディアと結婚している。ヘロデ家はエドム人でユダヤ人ではない。

④その兄弟フィリポ (→ヘロデ・アンティパスの腹違いの兄でフィリッポスとも言う) がイトラヤとトラコン地方の領主 (在位：BC4~AD34)、

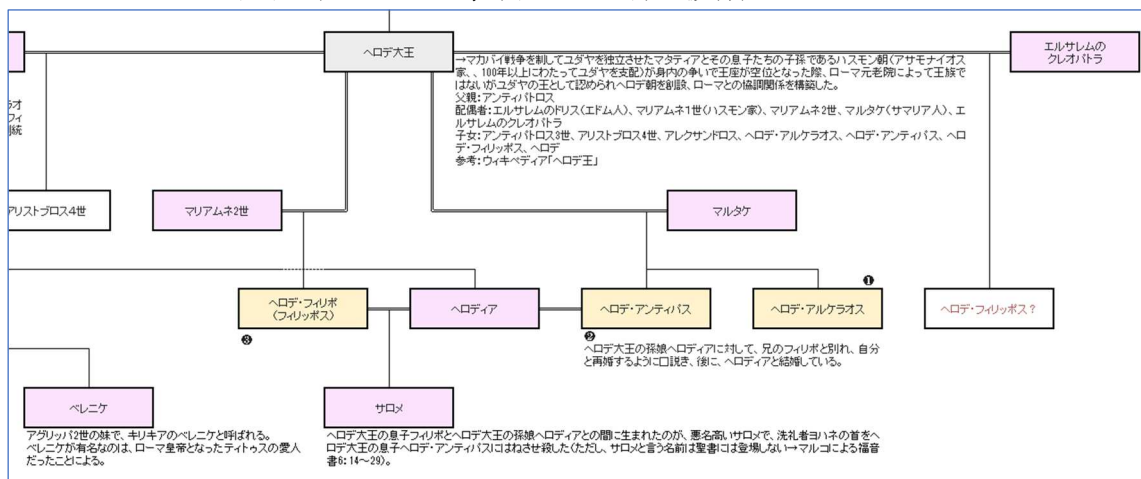
→ヘロデ大王の息子フィリポとヘロデ大王の孫娘ヘロディアとの間に生まれたのが、悪名高いサロメで、洗礼者ヨハネの首をヘロデ・アンティパスにはねさせ殺した (ただし、サロメと言う名前は聖書には登場しない→マルコによる福音書 6 : 14~29)。

⑤リサニア (→聖書にはここにしか登場しない、不明の人物) がアビレネの領主、

⑥アンナスとカイアフアとが大祭司であったとき、神の言葉が荒野でザカリアの子ヨハネに降った。

→アンナスは、AD6年から15年までユダヤの大祭司、その養子カイアフアもAD18年から37年まで大祭司であった (ルカによる福音書 22 : 54)。大祭司は終身職であり、引退しても、大祭司と言う称号が就き、実権はアンナスが握っていた (旧約時代、祭司は30歳から奉仕を始め、50歳で引退した)。

→ヘロデ大王にまつわる人物 (File ヘロデ家系図より一部を抜粋)



### 【参考】新約聖書にある「降った」

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 3 / 聖句等の総数 33250 <降った>4個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 降った]
S ルカによる福音書	3:2 アンナスとカイアフアとが大祭司であったとき、神の言葉が荒野でザカリアの子ヨハネに降った。	
S 使徒言行録	10:44 ペトロがこれらのことをなおも話し続けていると、御言葉を聞いている一同の上に聖霊が降った。	
S 使徒言行録	11:15 わたしが話したすと、聖霊が最初わたしたちの上に降ったように、彼らの上にも降ったのです。	

## ▶洗礼者ヨハネ、教えを宣べる（マルコによる福音書 1：2～3）

02 預言者イザヤの書にこう書いてある。

「見よ、わたしはあなたより先に使者を遣わし、／あなたの道を準備させよう。03 荒れ野で叫ぶ者の声  
がする。『主の道を整え、／その道筋をまっすぐにせよ。』」

→預言者イザヤの書にこう書いてある：当時の記述法である。

①イザヤ書 40：3 呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え／わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。

②イザヤ書以外でも次のように記されている。

①出エジプト記 23：20：見よ、わたしはあなたの前に使いを遣わして、あなたを道で守らせ、わたしの備えた場所に導かせる。

②マラキ書 3：1 見よ、わたしは使者を送る。彼はわが前に道を備える。あなたたちが待望している主は／突如、その聖所に来られる。あなたたちが喜びとしている契約の使者／見よ、彼が来る、と万軍の主は言われる。

→イザヤ（「ヤハウエは救い」、「ヤハウエの救い」という意味）は、記述預言者の中、最大の人物と言われた。アモツの子（列王記下 19：2）としてエルサレムで生まれ育ち、王ウジヤの死んだ年、BC 742/740/735 年 20 歳の頃（イザヤ書 6：1～13）にユダ王国の首都エルサレムで預言活動を開始した。最も新しい預言は、BC 701 年、アッシリア王センナケリブによるエルサレム包囲である（イザヤ書 37：6～7）ので、約 40 年にもわたって預言活動をしたイスラエルの代表的な預言者である。伝説によれば、マナセ王時代に殉教した。

イザヤ書は 66 章からなるが、40 章からは語られる思想が一変し、56 章からは更に主題が転換する。

そこで、便宜上、40 章から 55 章までを「第二イザヤ」、56 章から 66 章までを「第三イザヤ」と呼んでいる。

- ・第一イザヤ（1～39 章）：北王国滅亡前後（BC8 世紀後半）に活動した預言者イザヤの預言集
- ・第二イザヤ（40～55 章）：南王国滅亡以後のバビロン捕囚（BC6 世紀）の時代のイザヤ教団の預言者たちの預言集
- ・第三イザヤ（56～66 章）：バビロン捕囚終了後（BC6 世紀末近く）、エルサレムに移った「イザヤ教団」の預言者たちの預言集

## ▶洗礼者ヨハネ、教えを宣べる（マルコによる福音書 1：4～6）

そのとおり、

04 洗礼者ヨハネが（ユダヤの）荒れ野に現れて、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。

→洗礼者は、浸す者（直訳）を意味し、「浸す」（バプテイズー）に由来する。

→聖書での「荒れ野」は、人間が神に反逆した場所であり、また神の救いが起きる場所でもある（詩編 106：13～33、ホセア書 2：16～17）。

→悔い改めの洗礼：ヨハネは水による洗礼（バプテスマ）を授けたが、これは過去の生活の洗い清めを象徴した。ヨハネは人々に神のもとに立ち帰り、罪の赦しを得るように教えた（ルカによる福音書 3：3）。人が神に背き、神の命令に従わない時に罪と見なされる。

→ヨハネは慈しみ深いの意味で、彼は預言者エリヤの再来と信じられた。

05 ユダヤの全地方とエルサレムの住民は皆、ヨハネのもとに来て、罪を告白し、ヨルダン川で彼から洗礼を受けた。

→ユダヤはパレスチナの南部を指す。BC 11 世紀頃、イスラエル十二部族の一つであるユダ部族が、カナン（地中海とヨルダン川・死海に挟まれた地域一帯の古代の地名）と呼ばれたこの地域に定住した。エルサレムはイエスの時代、礼拝の最も重要な中心地であり、そこに神殿が建てられていた。ヨルダン川はパレスチナで最長の川で、ヘルモン山麓、ガリラヤ湖を通過して死海へと注いでいる。

06 ヨハネはらくだの<sup>シマ</sup>毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。  
 →らくだの毛衣：洗礼者ヨハネの衣は、預言者エリヤの衣と酷似している（列王記下 1：8）。  
 →いなご：乾燥いなご（レビ記 11：22）  
 →いなご豆（キャロブ）：カルシウムや鉄分、食物繊維等を豊富に含むため、主に健康食品として用いられています。



**【参考】 毛衣を着た二人の人物「エリヤ」と洗礼者「ヨハネ」**

	タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数：3 / 聖句等の総数 33250 <毛衣>3個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：毛衣]
K	列王記下	1:8 <sup>エリヤは</sup> 「毛衣を着て、腰には革帯を締めていました」と彼らが答えると、アハズヤは、「それはティシュベ人エリヤだ」と言った。	
S	マタイによる福音書	3:4 <sup>洗礼者</sup> ヨハネは、らくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べ物としていた。	
S	マルコによる福音書	1:6 ヨハネはらくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。	

**【参考】 洗礼者ヨハネは預言者エリヤの再来と信じられた**

S	マタイによる福音書	16:14 弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」
S	マルコによる福音書	8:28 弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」
S	ルカによる福音書	9:19 弟子たちは答えた。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『だれか昔の預言者が生き返ったのだ』と言う人もいます。」
S	ヨハネによる福音書	1:21 彼らがまた、「では何ですか。あなたはエリヤですか」と尋ねると、ヨハネは、「違う」と言った。更に、「あなたは、あの預言者なのですか」と尋ねると、「そうではない」と答えた。
S	ヨハネによる福音書	1:25 彼らがヨハネに尋ねて、「あなたはメシアでも、エリヤでも、またあの預言者でもないのに、なぜ、洗礼を受けるのですか」と言うと、

**【一言】** 旧約聖書のマラキ書が完成（BC440 頃～400 頃）した預言者マラキの時代から新約聖書が書かれる（イエス・キリストが登場する）までの約 400 年は「中間時代」あるいは「沈黙の時代」と言われています。